

令和7年度 事務事業評価シート（１）

[令和6年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	文化財保護事業				事業番号	008-049	
担当部署名	文化観光	局	歴史遺産活用	部	文化財	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画									
3	事業開始年度			昭和 40 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠			文化財保護法・大阪府文化財保護条例・堺市文化財保護条例						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁・出先機関（文化財課分室）・その他（文化財所有者・文化財保存団体）					
6	事業の対象	市内所在の指定（129件）・登録（64件）文化財および埋蔵文化財				対象数	単位
						-	-
7	事業の目的	・指定文化財の恒久的な保存・保護・後継者育成・活用 ・個人住宅、兼用住宅の建設にかかる埋蔵文化財調査費用負担の軽減及び市内遺跡の調査成果の蓄積・保存・活用 ・文化財の展示・公開等による文化財保護意識の醸成					
8	事業内容	○文化財の保存・活用 ・本市所有の文化財については直接、保存・公開等を実施。本市所有以外の指定文化財については、文化財の所有者や保存団体に補助金を交付。（12件） ・9月14日から10月27日の期間で、さかい利品の杜企画展「在りし日の堺-中世堺の都市景観をたどる-」を開催し、堺環濠都市遺跡の調査で明らかになりつつある中世都市堺の実態、特に景観復元をテーマとして展示。（来場者4,395人） ・10月5日に史跡旧堺燈台の特別公開（参加者480人）、10月27日に史跡土塔の特別公開（参加者450人）を開催。 ○埋蔵文化財確認調査 ・埋蔵文化財緊急発掘調査により遺跡の状況を確認し記録。（12件） ○出土遺物保存処理 ・業務委託により出土遺物の化学的な保存処理を実施。 ※国・府の基準より上回って実施した内容					
9	主な支出先	委託業者、文化財所有者・文化財保存団体					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	指定等文化財等の公開・活用のうち 史跡旧堺燈台・史跡土塔の特別公開参加者	人		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	1,100	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,080	930		
			達成率	98%	78%		
当該指標を選定した理由		指定文化財等の特別公開を開催することにより、文化財保護意識を醸成し堺の歴史文化に対する情報を広く発信する。					
目標値の設定根拠・算出方法		指定文化財等の特別公開（史跡旧堺燈台・史跡土塔）の来場者数					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	埋蔵文化財確認調査件数	件		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	10	12	12	
			実績値	12	13		
			達成率	120%	108%		
当該指標を選定した理由		埋蔵文化財調査の実施件数が個人住宅建設に伴う発掘調査費用などの負担の軽減につながるだけでなく、調査成果が市内遺跡の内容把握、遺跡保護に関する基礎データとして活用できることから、件数を重ねることにより周辺の状況に即した市内文化財の保存を図ることが可能となるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		実際の調査件数（実績）					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	文化財保護事業	事業番号	008-049
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト						※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）							
13	財 源 内 訳	項 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度				
			決算		決算		当初予算		当初予算				
		事業費（a）		13,092		7,579		24,485		23,685		34,495	
		国支出金		1,361		1,299		1,123		1,000		10,623	
		府支出金		0		0		0		0		199	
		市債		0		0		0		0		0	
		その他（基金繰入金）		0		0		0		8,000		2,272	
		受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0		0		0	
一般財源		11,731		6,280		23,362		14,685		21,401			
14	人件費（b）		19,940		18,810		22,500		17,730		18,360		
15	年間経費（c）=(a)+(b)		33,032		26,389		46,985		41,415		52,855		
事業費の内訳（単位：千円）													
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費		うち 一般財源	項 目	年度		事業費		うち 一般財源
		会計年度任用職員報酬		R6	決算	126	63	さかい利品の杜企画展示	R6	決算	278	278	
				R7	予算	126	63		R7	予算	300	0	
		堺市文化財情報システム（GIS）保守点検業務		R6	決算	550	550	文化財保存事業補助金	R6	決算	1,059	1,059	
				R7	予算	550	550		R7	予算	1,387	1,387	
		埋蔵文化財緊急発掘調査業務		R6	決算	1,100	605	指定文化財樹木保護増殖業務	R6	決算	627	627	
				R7	予算	1,000	500		R7	予算	999	0	
		出土遺物保存処理業務		R6	決算	787	394	堺市指定有形文化財本願寺堺別院 保存修理補助事業	R6	決算	18,000	10,000	
				R7	予算	1,000	500		R7	予算	7,000	7,000	
		堺市文化財情報システム（GIS）更新業務		R6	決算	0	0	その他（需用費、役務費など）	R6	決算	1,158	1,109	
				R7	予算	19,910	10,410		R7	予算	2,223	991	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17		区 分	単位	令和5年度	令和6年度
	①	埋蔵文化財確認調査件数	件	12	13
	②	上記①にかかる年間経費	千円	951	1,100
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	79,250	84,615
	算出についての説明等		0		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	確認調査で得られた成果は当該開発のみならず、周辺開発における遺跡保護のための基礎データとして活用することができた。 調査結果を文化財情報システムに記載することで、市内遺跡のデータの精度が向上し、周辺開発の際の遺跡保護判断根拠として活用することができた。 史跡旧堺燈台や史跡土塔は、文化財の保護とあわせて、堺の類まれな歴史を伝える優良な文化観光コンテンツとして日常管理と整備をおこなっているが、特別公開を実施することで本市の歴史文化に関する関心や理解を高め、ベイエリアや中区域内への誘客を促進することができた。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	指定文化財の管理・保存修理・後継者育成などの事業を展開したことで、文化財の所有者や保存団体の負担軽減に加えて文化財保護に対する意識をさらに深めるきっかけともなり、事業目標である指定文化財の恒久的な保存・保護・育成及び活用が達成された。 さかい利品の杜の企画展では4,000人を超える入場者数があり、堺環濠都市遺跡出土資料を活用して中世堺の景観への理解を深めることにより環濠エリアへの誘客を促進することができた。 史跡旧堺燈台の公開では480人、史跡土塔の公開では450人の参加があり、堺の文化財保護に対する意識を醸成することができた。さらに土塔特別公開では、地元や周辺市町村、関連団体の協力や連携のもと実施することにより土塔へのさらなる誘客促進を図った。